

この動画のテーマ

- 米銀格下げの理由
- 格付け機関とは？
- バフェットの警鐘は現実となるか？
- 銀行と経済危機の関係
- リスクに対して長期投資家はどうか立ち向かう？

大手格付け機関が格下げの可能性を通知

The logo for Fitch Ratings, featuring the text "FitchRatings" in a white serif font on a dark brown rectangular background.

FitchRatings

70行超の格下げを示唆
(8/15)

The logo for Moody's, featuring the text "MOODY'S" in a white serif font on a blue rectangular background.

MOODY'S

中堅・中小銀行を格下げ
(8/7)

3～5月に相次いだ銀行の破綻...



格付け機関とは？

米国系

Moody's
S&P

欧州系

Fitch

日系

格付投資情報センター(R&I)
日本格付研究所(JCR)

投資
適格

AAA
AA
A
BBB

投資
不適格

BB
B
C
D

なぜ格下げ？

米国債利上げで価格下落
相次ぐ破綻で預金調達コスト上昇
商業用不動産の危機
2024年の景気後退予測

バフェットも警告

ウォーレン・バフェット氏「米銀破綻は終わっていない」

預金者はパニックに陥る必要はない

ブルームバーグ 2023/04/12 23:05



(写真:ブルームバーグ)

Think! 多様な観点からニュースを考える >

※掲載される投稿は投稿者個人の見解であり、日本経済新聞社の見解ではありません。



野崎 浩成

東洋大学 国際学部教授



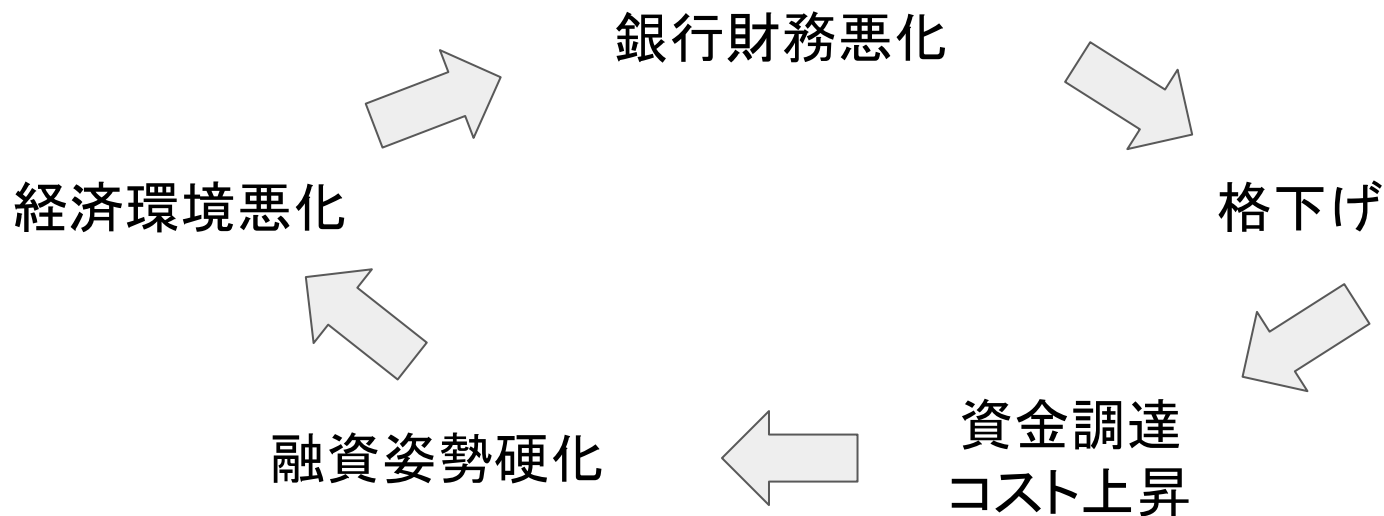
別の視点 格下げのモメンタムが高まっている今だからこそ、格付けが持つ「下方スパイラルの特性」について再認識すべきだと思います。格付け機関はリスクへのセンシティブリティが高いため、重大な経営リスクが浮上する遙か以前からレーティングアクションを行う傾向があります。このため、格下げが市場や顧客の行動を促しながら、格下げ対象企業の経営状況の悪化を加速させるケースが少なくありません。言葉を選ばずに表現すれば、「自己実現的な経営危機」、つまり将来的な経営悪化を踏まええた格下げが、現実の経営悪化を加速・実現させる程度の影響を持つということです。この点を踏まえて、今後も動向を注視する必要があります。

2023年8月16日 7:30



119

株式市場への示唆



危機はそこに潜んでいる

長期投資家へのアドバイス

危機に弱いのは「弱者」

逆境で強い企業はより強く

良い企業が下がったら淡々と買っていけ

相場循環図

